

# 令和5年度 子ども大学さって

## 1. 実施体制

子ども大学さって	学長	山西 実（幸手市教育委員会教育長）
	副学長	なし
子ども大学〇〇実行委員会	実行委員長	なし
	実行委員 (関係団体)	なし

## 2. 事業内容

開催回数	5回	開催期間	令和6年1月27日(土)～2月24日(土)			
参加者数	7名	内訳	小学4年生	4名	小学3年生	1人
			小学5年生	0名	小学1年生	1人
			小学6年生	1名		

### 3. 実施内容

1日目	開催日時	1月27日(土)	
		1限目 10:00~10:30 2限目 10:30~11:50	
その他 (情報収集)	会場	日本保健医療大学 幸手北キャンパス	<p>これからの全5回の講義を通じて学び体験したことを新聞記者として記事にするための取材の心得や方法を学びました。</p> 
	講義名	1限目 「取材するって何？」 取材して地域を新聞で発信しよう！ 2限目 「まちの魅力を発信しよう！」 まちの人気をあげるってどんなこと？	
	講師	1限目 株式会社 高読 タウンプレスよみうり担当 中島 裕太氏 2限目 幸手市総合政策部秘書課 シティプロモーション担当主査 竹内 朝海	
2日目	開催日時	2月3日(土) 13:00~15:00	<p>幸手市と連携交流協定を結ぶ入間市の特産品である「狭山茶」の歴史を学ぶとともに、おいしいお茶の淹れ方を体験しました。</p>
ふるさと学	会場	入間市博物館ALIT	
	講義名	1限目 「狭山茶の歴史と入間の地形」 2限目 「おいしいお茶の淹れ方」	
	講師	入間市博物館学芸員 小田部 家秀氏	

### 3. 実施内容

3日目	開催日時	2月10日(土)	
		9:30~12:00	
ふるさと学	会場	有限会社 神扇農業機械化センター 幸手市南公民館料理実習室	
	講義名	1限目 「おいしいお米が収穫できるまで」 2限目 「おいしいお米の炊き方」	<p>幸手市の特産品であるお米を機械化により収穫している施設を見学するとともに、おいしい「お米」の炊き方を市の管理栄養士から学び、実際におにぎりをつくって味わいました。</p>
	講師	1限目 (有)神扇農業機械化センター 代表取締役 船川 由孝氏 2限目 幸手市健康福祉部健康増進課 主事 荻原 洋喜	
4日目	開催日時	2月17日(土) 9:00~12:00	
	会場	日本保健医療大学 幸手北キャンパス	
生き方学	講義名	「アニマルセラピー、ロボットセラピー、玩具セラピーを知ろう！」	
	講師	日本保健医療大学保健医療学部看護学科 教授 熊坂 隆行氏	

### 3. 実施内容

5 日目	開催日時	2月24日（土）	
		9：30～11：00	
その他 （情報発信）	会場	日本保健医療大学 幸手北キャンパス	
	講義名	「取材した情報で『子ども大学さって新聞』をつくろう」	
	講師	株式会社 高読 タウンプレスよみうり担当 中島 裕太氏	
これまでの講義で学んだことや体験したことを記事にした「子ども大学さって新聞」の原稿を参加者で分担して書きました。			

## 4. 参加者の声

<p>参加した子供の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 幸手市と入間市の地形がぜんぜん違うことにおどろいた。</li><li>・ 幸手市はたいらな地形で「低地」ということがわかった。入間市は、高いところやひくいところがあって「台地」ということがわかった。</li><li>・ 埼玉がお茶が作れる最北限ということをした。お茶はどこでもつくれつわけではないことがわかった。</li><li>・ お米が作れる土地は、たいらで低い土地ということがわかった。</li><li>・ 病気で寝たきりでお話ができなかった児童が、セラピー犬と出会う、元気がでて、病気が治った話を教えてもらった。</li><li>・ 新聞をつくることは、自分の想像で書いてはダメで、取材をして「事実」を確認することが大事とわかった。</li></ul>
<p>保護者の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校とはまた違う経験ができて楽しかったようです。</li><li>・ ほかに子と少し仲良くなれてうれしかったようです。</li><li>・ 貴重な機会を作っていただきありがとうございます。</li><li>・ いろいろな内容の勉強をして楽しかったと思います。</li><li>・ 昨年に引き続き、今年度も「子ども大学」に参加させていただきありがとうございました。 学校から手紙をもらってくると「今年も参加したい」といいながらも土曜日の講義ということで、習い事と重なってしまうため、悩んでギリギリの応募となってしまいました。</li><li>・ 引っ込み思案で人前での発言・発表が得意ではありませんが、いろいろな知識を知るということは大好きなため、毎回の講義でたくさんのことを見、聞いて、体験してとても楽しかったといろいろ話してくれました。</li></ul>